

# 「近代東アジアにおける国際秩序と戦争」

## 〈趣旨〉

現在の世界情勢は、既存の国際秩序の動揺に伴い、不確実性が劇的に高まっています。

戦前の歴史を振り返ると、日本の対外拡張などにより国際秩序が混乱した末、第二次世界大戦の勃発に至りました。各国はなぜ、いかにして戦争へ至ったのか、について歴史的な理解を深めることは、現在の世界について考えることにつながります。そこで、1930～40年代の東アジア国際情勢について中国とソ連の視点から紹介し、その意義を考察します。

## 〈演題〉

「ソ連の極東戦略と国際秩序」（花田智之）

「日中戦争の拡大と中国の対応およびその戦時体制」（藤井元博）

## 〈講師〉

花田智之（防衛研究所戦史研究センター主任研究官）

藤井元博（防衛研究所戦史研究センター主任研究官）

司会：岩谷將（北海道大学公共政策大学院教授）

日時：7月18日（金） 15:00～17:00

場所：北大札幌キャンパス 文系共同講義棟5番教室

対象：北海道大学在学生・教職員／HOPS卒業生

